

## <ベンチマークの説明>

FutureMark の PCMark 8 は SSD の個人使用における "Steady State" のドライブの状況と、ガベージコレクションによるリカバリー後のドライブの状態をテスト出来るベンチマークソフトです。そのため、"Steady State"の状態をつくるため SSD ドライブにランダムデータを書込み、ドライブがリカバリー出来るように一定のテスト間隔をおきます。

### **Precondition Phase:**

1. レポートされた容量までランダムデータをシーケンシャルにドライブに書込みます
2. ドライブに二度目の書き込みを行います (オーバープロビジョニングに対処)

### **Degradation Phase:**

1. ランダムオフセットで、8\*512 から 2048\*512 bytes の間のランダムサイズのデータを 10 分間書込みます。
2. performance test を実行します(one pass only).
3. 1-2 を 8 回繰り返します。またそれぞれの pass でランダム書き込み間隔を 5 分間ずつ増やします。

### **Steady state Phase:**

1. ランダムオフセットで、8\*512 から 2048\*512 bytes の間のランダムサイズのデータを 50 分間書込みます。
2. performance test を実行します(one pass only).
3. 1-2 を 5 回繰り返します。

### **Recovery Phase:**

1. 5 分間アイドル状態にします
2. performance test を実行します(one pass only).
3. 1-2 を 5 回繰り返します。